



世界へのプレゼントになろう



守口ロータリークラブ 週報 No. 18



ロータリー財団月間

2015-16・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1、愛情物語 2、Close To You 3、イエスタディ

本日例会 2015年12月05日(土)
(第2650回)

「2015～2016年度地区大会」
12月4日(金)：リーガロイヤルホテル
12月5日(土)：11：00～国際会議場
担当：会長・幹事

次回例会 2015年12月09日(水)
(第2651回)

「フォーラム」
神田 隆司 会員
担当：青少年奉仕・ローターアクト委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
11月25日	27 (内免除者2名)	9	75.00%【会員38名】
11月11日	28 (内免除者3名)	メークアップ2名	(80.00%)



前回例会 (2649回) 11/25の主な内容



◎白井パスト会長へK・Rラビンドラン R I 会長より前年度ロータリー財団寄付金をされたと言う事で、「ワールドバッジ」を贈呈



◆◆◆委員会だより◆◆◆

○職業分類・会員選考委員会

日時：11月25日(水)12：00～
場所：「例会場」出席2名
議題：新会員職業分類の件

○第3回選考委員会

日時：11月25日(水)11：30～
場所：「事務局」出席5名
議題：①次々年度会長選考の件

◆◆◆委員会報告◆◆◆

○会員増強委員会 (石山委員長)

「入会案内」の冊子の活用をお願いします。

○親睦活動委員会 (市橋委員長)

クリスマス家族親睦例会のご案内
日時：12月19日(土)18：00～
多数のご参加とご寄付宜しくお願いいたします。



■ 会 長：川 村 弘 和
■ 幹 事：廣 瀬 彰 久
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

(会長 川村 弘和)

卓 話

佐治 信隆 会員



先週 21 日土曜日、四条畷 C C でゴルフ同好会でした。快晴の温かい日で、スコア以外最高のゴルフ日よりでした。守口 R C 特別ルールにより優勝は神田会員で最下位とベストグロスが井上会員で不思議な成績順位です。ちなみに私は 3 位でした。

今日は「水と格言と人生」(7)のお話です。

「次に来る旅人のために泉を清く保て」チンギス・ハーンという言葉です。人間の生き方を教えている言葉です。中国北西部ゴビ砂漠から敦煌に向かうシルクロードの旅をしますと、「水」の大切さがわかります。喉がカラカラになってきますと遠くをみると湖があるように見えあそこに行けばオアシスがあるという感じがすると良く聞きます。それほど水源は貴重なものだから、この言葉が格言になったともいいます。

最近、この世にはびこるよくない思想があります。「自分さえよければ」主義です。1980年代初期のレーガン大統領による新自由主義革命以来、今日までグローバルズムの考えがひろがりました。日本も大波をかぶり新自由主義の中にのまれて「自分さえよければ主義」の思想が日本にも入ってきました。そして急速に広まり日本の指導層の心に入り込みました。同時に「今さえよければよし。後のことは後の事」と行き当たりばったり主義的思考が広がりました。

チンギスハーンという言葉は、「自分さえよければ主義」とは正反対の考えに立っています。私達は、このチンギスハーン思想をもって生きていきたいものだと思います。今生存している人々の幸せだけでなく将来の人々の幸せまで考える生き方を確立したいものです。

今日の一句

阪神へ復帰した藤川と掛けて野球少年と解く
その心は、
～ 甲子園球児(藤川球児)で優勝だ。



石井 会員 本日の家庭集会欠席のお詫び。
神田 会員 ゴルフコンペで優勝しました。スコアは聞かないで下さい。
中道 会員 例会欠席のお詫び。

11/25 ニコニコBOX 431,000円

「ロータリーの目標」

(～本文は、次ページに掲載～)



◎ 幹事報告 (廣瀬幹事)

- 1、12月3日(水)の例会は12月5日(土)に移動例会となりますので休会です。
- 2、12月5日(土)地区大会の入場証を申込者にお渡しいたします。申込証の無い方も当日登録ができます。当日は移動例会となっていますので是非ご出席をお願いします。
- 3、第3組幹事会の報告

●2015～16年度第3組ロータリーデーのご案内
日程：2016年3月26日(土)
場所：ホテル・アゴーラ大阪守口

四つのテスト

●言行はこれに照らしてから ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

卓 話

「ロータリーの目標」

佐治 信隆 会員

1905年、経済恐慌で人心が荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールPハリスが、3人の友人と語らって2月23日、第一回の会合を開いたのが、ロータリークラブの始まりであります。

会員は地域内の理想にもえる堅実な事業家、専門職業人の中から定款により1業種1人を選び、週1回の例会出席によって、各職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

現在世界で220以上の国や地域に広められ、クラブ数25,504、会員総数は122万人に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリーが構成されています。

守口ロータリークラブでは

- 1、広く知り合いを求めて奉仕の機会を多く持つ。
 - 2、各自の職業に誇りをもって、その道徳的基準を高める。
 - 3、公私の別なく考えて実行する。
 - 4、理解と友情を国際的にひろく深める。
- と国際ロータリーの文言よりわかりやすい表現に先輩会員が努力されている。

◎出席について

会員身分を継続するために、少なくとも所定回数はクラブ例会に出席しなければならない。出席を多くすることによってお互いをより理解できることによって親睦の実を深め永続的友情への第一歩としてはぐむことができるようにするためである。

◎目的

ロータリーの目的は一言にして言えば奉仕の精神であり、これを抜きにしてありません。この奉仕の意味は自己犠牲や金品のみの行為ではありません。自分の職業を通してもっと相手の役に立てることがないのかを常に考える気持ちをいつも持ち続けることである。

◎それを守口クラブでは下記の如く

ロータリーとは

超我の奉仕を信ずる人達の親睦の集まりである

ロータリーとは

あらゆる事業や専門職業における、水準を向上させる

ロータリーとは

人々の最も貴重な財産である時間を他の人達のために割愛する人達の親睦である

ロータリーとは

各自の職業を通じて奉仕することである

ロータリーとは

一つの「生き方」として自ら「献身」することであると国際ロータリーのわかりにくい文言を1971～1983に日本の表現にクラブ先輩達のご努力されていることに改めて敬意を表意します。

◎ロータリーバッジについて

国際ロータリーの細則では、国際ロータリー並びにクラブの名称、徽章、バッジその他の記章をクラブまたはクラブの会員が商品の商標または特別銘柄として使用しあるいはその他商業上の目的のために使用することは一切できない。これらの名称、徽章、バッジその他の徽章と組み合わせ使用することは国債ロータリーの承認しないところである。つまり例会やロータリーの集いには必ずバッジをつけて出席する。

基本の大きさは1,2ミリですが最近の資料では大きさについてはこだわっていないようです。

バッジをつけることによってお互いがロータリアンであることを確認し奉仕が共通認識であることの連帯感が生まれてくるのではないのでしょうか。

金儲けや、ロータリークラブのメンバーであることを、バッジを利用して吸聴してはならないということである。バッジをつけることで地位を確保するのではなく、ロータリアンであることの自覚に立って自分の行為が世界のロータリアンを辱めることのないようしなければならない。

◎ニコニコ箱社会奉仕基金を集める箱を「ニコニコ箱」と呼んでいます。

ニコニコ箱は文字通りニコニコしながら利用できる感謝箱です。

- (イ) メンバーの誕生日
- (ロ) 結婚記念日を祝福されたとき
- (ハ) 会社増資、拡張、その他記念日
- (ニ) 子息の結婚式、初孫等

その他メンバーの慶び事があった場合、又、理由が見つからない時は「チョットいい事がありました。」で入れて下さい。

◎時間の厳守

ロータリーの会合は、いつも時間厳守を厳守しています。この例会は切り詰めた時間に最も有意義な時のしさをもちたい、というのがねらいで、おそらく他の会合では味わえないものがあります。

新入会員の第一印象は、誰もが時間厳守のすばらしさにあるようです。

守るべくしてまもらないこの簡単なことがロータリーでは厳然として守られているのです。

◎最後に

ロータリーとは超我の奉仕である何回も教えられました。それでは具体的には日常的にはどういふことを言うのでしょうか？

良寛という僧侶の名前は誰でも知っておられるでしょうが、この方は江戸後期の曹洞宗の僧で家は新潟県出雲崎の名主。18歳で家を弟に譲り出家して良寛と称し、大愚と号した。備中玉島円通寺の国仙和尚に出会い、師の教に感銘して導かれて曹洞禅を修めた。各地を行脚を重ねて出雲崎に帰り、1804年(文化1年)国上山の五合庵に移した。

「霞立つながき春日を子供らと手毬つきつきこの日くらしつ」と詠んでおります。この時は、越後(新潟)では半年以上雪の中で暮らさねばならない訳です。雪の積もる豪雪地帯ではその間、作物がとれない。年貢は容赦なく求められる。ある資料を見ておりましたら北関東、北陸、奥羽からは、毎年8歳ぐらいになると旅籠の飯盛女として売られて行くのです。勿論飯盛女と称していますがその実は今日で言う売春が目的です。だいたい20歳前後でいのちがなくなっていきます。長く生きた人でも28、9歳しかいざりなかつたらしいです。

だから、良寛さんはどうしてやることもできない当時の世の仕組みの中でせめて、何日かでもよい、子ども達と一緒に手毬をして、これから始まるつらい悲しい日暮しを思うと、ひとときでもいい一緒に手毬について楽しい思い出を作ってやろうという想いがあったのでないかと、良寛のこころを頂いたことです。

わたしはこれがロータリーで言う超我の奉仕と理解しています。